

東藥會報

昭和三年三月廿七日
發行所 東京市東區下谷町三丁目
印刷所 東京市東區下谷町三丁目
電話 三三三三
代印 東京市東區下谷町三丁目
代印 東京市東區下谷町三丁目

實力の養成に努めよ

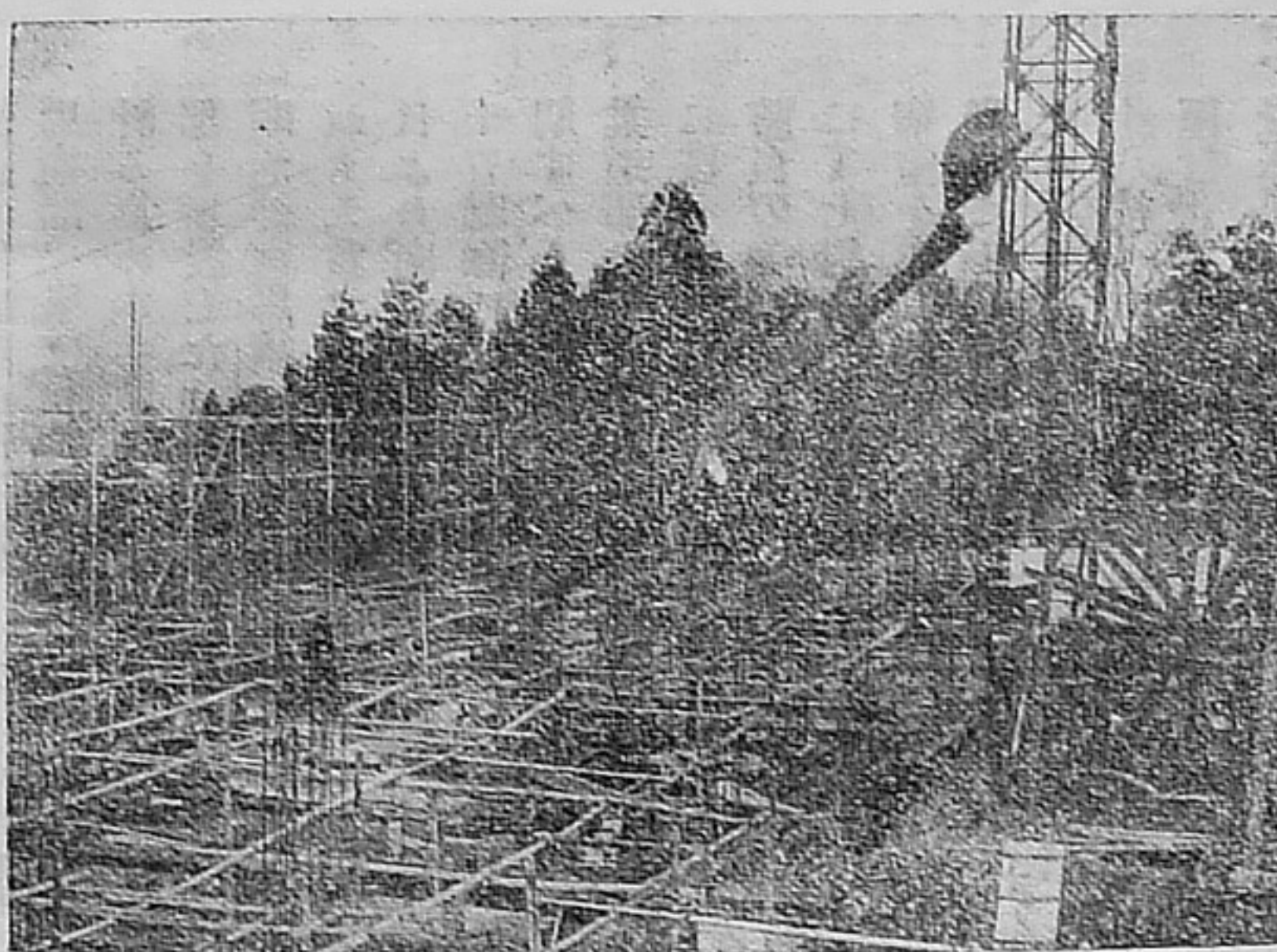
帝大藥學科選科同窓會 坂井爲吉

私は東藥專第七回卒業生の一人、先輩各位の御盡力有りとも所期です。三ヶ年間の東藥專の生徒生活の實績は東藥專内外の表裏事情を或程度迄洞察し得たと共に、東藥專卒業生が果して藥學に對する幾何の知識を具備し居るものなりやは最も明確に知悉し得たので有ります。私は藥學に對しては専門學校方面より進み得る最高の教育と指導とを受け、神の缺けたるに驚かざるを得なかつたので有ります。免狀さへ握れば實力などはドローでもよいと云ふ藥專氣分が漲つて居ては眞面目な勉強の出来よう筈はない何と云ふに免狀が握りたいたいのだとの觀念が先になつては藥學に對する實力の養成などは到底望めないもので有ります。從つて幾多の弊害や大きな聲で話の出来ぬいささつ暗闘は期せずして發生するので有ります。是果して誰の罪で有るか、私をして率直に曰はしむれば生徒も悪いが學校の當局も悪いと斷言して憚らぬので有ります。何、何が當局に悪いかと御叱りの御言葉が有るかも知れぬが、夫は言はぬが華かと存じます。

く迄實力の養成に向つて遺憾なく智識慾を満足せしむるに努めました。卒業後帝大慶松博士に御指導を願ひ官學士に手を取つて頂いて、少し計り藥學らしい味が理解し得たので有ります。私は自分の實績により切に東藥專在學中の生徒諸君に實驗實習に全力を傾注して藥學の趣味を認めらるゝと共に大に實力の獲得

も居られます。私は母校名譽の爲めに只單に東藥卒業のみを以て甘んずる事なく飽く迄も藥學の興味と實力の養成に心懸られん事を切望する次第で有ります。要するに母校在校生は自治的に實力養成に志す事最も必要で有るが、學校當局に於ても思を致すに致し、生徒の自治精神を尊重すと共に、實力の養成には尙幾多考慮の餘地有るを信じます。從つてに貴重なる授業時間に教科書や參考書を素讀するが如き教授を全廢するを急務と致し、いやくも教授に以上は自己の教授課目には自己研讀の新事項を提供し、日新藥學の新事項を吹き込み以て生徒を教養

す。が如きは校規の神聖を没却するものと斷言し得るので有ります。いやしくも學校で有る以上は生徒が勉強するのは當然で有ります。然し職員も勉強せざるではなりません。夫には職員用の實驗室實驗臺の設備が無論必要で、現母校の此等の設備は勿論不完全ですが有りは有りませう。然し此實驗臺が嘗て使用されし日が果して幾日有りましたでせうか。生徒も自治的に目覺めて實力の養成に精進しませうが、職員も向ひやが上にも研讀を積まれん事を望みます。日本に於ける藥學研究者の集りとして日本藥學會が有ります。毎月藥學雜誌を刊行して各自の研究を發表し毎年一回春季に大會を催して講演が有ります。昨年四月舉行されました上野自治會館に於ては二日間に渉る學術講演數實に五十二項の多きに及びました。今天を所屬別にして見



校舎建築工事實景

日本で最も古き歴史と最も榮譽ある關係先輩を有する我母校が日本を代表する東都に在ると同時に又嘗ては日本に在る幾多の藥專の代表たり得可き事はさして難事有りしとは考へられぬので有ります。數個の官立藥專は何れも東都を去る遠慮の地に置かれて、而かも東都に在る我母校は舊態を脱せぬ一私立藥專として、後進藥專と其長短を云々さるゝの境に有るは非常に矛盾せし現状で有ると不可思議に思つて居たので有ります。然るに今や先輩各位の御盡力により母校は改築され旭日昇天の機運に際會せんとしつゝある事は御同慶に堪へざる次第で有ります。後輩たる小生の如きは何等盡し得る事もなく只に其不甲斐なきを記さざるを得ないので有ります。校舍は改築され四週的面目は一新すると雖も所謂藥專氣分の改善されざるに於ては、いかに

に向つて自治の精神を啓發せられん事を望みます。斯くして初めに藥學の研讀に興味を得られや參考書を見れば瞭然たる事を長たしくお茶を濁すが故に、聞く生徒も身が入らぬ、居眠をまねん事を切望するので有ります。母校の理事であり且時めく大蔵政務次官の要職に居る、大口氏は母校の出身者で有つて且帝大藥學選科の出身で有ります。其外選科の出身には藥學博士も有ります。藥學に關係有る重要の地位を占めらるゝ幾多の名士

が如きは校規の神聖を没却するものと斷言し得るので有ります。いやしくも學校で有る以上は生徒が勉強するのは當然で有ります。然し職員も勉強せざるではなりません。夫には職員用の實驗室實驗臺の設備が無論必要で、現母校の此等の設備は勿論不完全ですが有りは有りませう。然し此實驗臺が嘗て使用されし日が果して幾日有りましたでせうか。生徒も自治的に目覺めて實力の養成に精進しませうが、職員も向ひやが上にも研讀を積まれん事を望みます。日本に於ける藥學研究者の集りとして日本藥學會が有ります。毎月藥學雜誌を刊行して各自の研究を發表し毎年一回春季に大會を催して講演が有ります。昨年四月舉行されました上野自治會館に於ては二日間に渉る學術講演數實に五十二項の多きに及びました。今天を所屬別にして見

最近に於いて會合いたしましたのは去る二月十七日でありました。總選舉を前に控へての會合は寄りが悪るだらうと思ひましたが、當番幹事に當つて居る私と小川榮造君と相談の上決行する事にいたしました。日本橋上植町「浮舟」で午後五時から會するもの、稲野勇、美馬康三郎、小島義忠、松永豊一、江口岩男、鈴木西造、加藤定吉、小川榮造、山崎景明の九名で外に毎度會合の都度報導をして頂いて居る東京藥品商況日報の社長三輪富十氏をお招きして例によつて水入らずの會合で九時過ぎに散會いたしました。次回の幹事は小島義忠君と美馬康三郎君で、春風融蕩たる四月中旬にお花見気分を過す事と今より期待して居るところです。(山崎報)

建築資金現況

帝大藥學科 二十七項
満鐵中央試驗所 一項
長崎藥專 一項
東京衛生試驗所 三項
京城藥專 一項
海軍學校及病院 三項
金澤藥專 二項
陸軍衛生材料廠 二項
富山藥專 二項
名古屋衛生試驗所 二項
熊本藥專 三項
北村化學研究所 二項
大阪藥專 一項
武田製藥研究所 一項
千葉藥專 二項

此等の發表はいつれも自己研究の結果なる前人未發の事項の鮮より断せ参じて出演されたもので有ります。藥專としては長崎、京城、金澤、富山、熊本、大阪、千葉の七校よりいづれも其校の職員にかゝる發表で有りました。お膝元に有る吾母校の名稱が此表の中に發見されざるに道がないのである。

建築彙報

新校舎建築工事は既報の如く早地均しを終へ現今基礎工事中であるが、敷地は地盤の最も堅固な赤土山である爲基礎工事は最も順調に進み、状況は寫眞の通りであるから、本月中には全基礎工事を完了し直ちに本建築の方に着手し得るであらう。

東藥會本所 支部春季大會

春雨靜かに降りそゞ三月二日午後五時東藥會本所支部春季大會は淺草公園山下壽賀野亭に於て開催せられた當夜は御多忙中雨天にも拘らず來賓として池口東藥校長も御出席あらせられたり

研究會の近況

東藥會報を通じて研究會の近況を報導いたします。卒業以來在京の會合が隔月一回幹事廻り持ちで開催されて居ります。即ち會合の精神といたしましては、どこ迄も昔の學生気分其儘を出さうといふにあつた。然しながら世態の變遷環境の推移に動かされまゝ年と共に如何ともいたし方がありません。

在校部報

東京第九回卒業式

昭和三年三月十九日午後一時より本校講堂に於て、第九回卒業式を挙行せり。この日、朝来より春光麗かに照り映えて風をよき、稀なる晴天なりき卒業生百貳拾六名、來賓として我藥學界の長老長井博士を初めとし慶松博士、上野博士、高橋博士諸氏の御列席あり、其他知名の方々及多數先輩の出席を見頗る盛大を極む。定刻校長の辭に始まり次で來賓演説として先づ慶松博士立ちて、卒業生に與ふるの有意義なる熱辭を振はれ、又長井博士の酒脱且懇篤なる御訓辭あり、最後に滿堂靜肅に卒業生代表の答辭讀みありて、榮ある式を了る。

第九回卒業生

- (東京)井上勝男 (東京)井上重之助 (群馬)井上正三 (千葉)入江武三 (東京)岩谷潔 (東京)板谷信太郎 (秋田)池田重克 (東京)池野幹太郎 (東京)春田省一 (鳥取)原亮之助 (埼玉)原澤津雄 (東京)林秀男 (北海道)濱野幸四郎 (東京)橋本直樹 (新潟)星俣三郎 (愛知)本田三三 (東京)島居春吉 (群馬)高岡秀三郎 (朝鮮)張智世 (神奈川)小野孝風 (東京)小野俊二 (東京)小倉尹 (栃木)大高克枝 (東京)大塚豊 (東京)大久保覺 (東京)太田友五 (東京)渡邊亮一 (東京)渡邊平 (千葉)渡邊亮一 (愛知)加藤正彦 (岡山)川村平二 (東京)川村芳彦 (東京)川村道 (福岡)河島豊郎 (茨城)金澤章夫 (栃木)柏崎貞男 (臺灣)楊金遠 (東京)横山晋 (埼玉)吉田昌太郎 (東京)吉川正二 (栃木)吉田武彦 (新潟)吉越隆一 (東京)大郷頼之助 (東京)田原繁男 (東京)田邊勝馬 (東京)田中哲之助 (栃木)田中誠一 (茨城)田口清興 (東京)田口英雄 (東京)高橋讓 (滋賀)高尾健太郎 (神奈川)瀧澤祥雄 (大分)武田茂郎 (神岡)澤木長夫 (長野)中山喜十 (東京)永井正雄 (福島)永倉文三郎 (愛知)長坂昇 (岐阜)長瀬雄三 (静岡)内山茂近 (東京)内山八十榮 (東京)牛田卯兵衛 (岩手)野口末雄 (鹿児島)原

東藥會在校各部報

校運日々隆盛に趣き光輝を加へつゝある折柄我が在校各部の發展活躍は實に目醒しいものがある。

一、庭球部は年度始めに新校舎敷地内にコート二枚を新設と同時に合宿猛練習明榮との試合には惜敗したが高等蠶絲、美術、音楽各校の強敵と戦ひ全勝山野に於ける獨我が部にあり。

一、陸上競技部は設置後日淺きに不拘年々續出する我が部のレコードは日本レコードに肉迫して來た遂に千葉藥專を零敗せしめ勢に乘じて都下醫齒藥陸上聯盟に於ては有数の好成绩を得た。

一、辯論部五月全國各大學專門學校辯論大會には參加辯士四十五人の盛會を極めたり十月には關東各大學專門學校雄辯大會は恩師丹波先生の長逝の爲延期せり。同月丹波先生の追悼會を兼ね全國藥專雄辯聯盟大會を上野自治會館に開き、參加校五校出席辯士三十餘名聽衆千人餘、一般の人々に藥學、藥劑師、醫藥分業の根本精神を猛烈に高唱せり。外に京都、大阪、富山を初とし三十餘校六十餘名の辯士を派遣し好成绩を得。

一、馬術部、學校教練の充實を計る爲本年度より、この部を新設した。東北馬術、明治神宮馬術大會に出場何れも入賞せり。十二月廿四日より向八日間習志野騎兵十五聯隊に明年度の必勝を期すべく合宿練習を行ふ。

一、柔道部は年々新人を迎ひ技に技を練り大正十二年來未勝負の美術對本校の決勝戦にて七對四で優勝し年來の宿望を遂ぐ都下醫齒藥柔道聯盟にて八校中第三位を得たり。外に選手三十七名、十八校へ派遣し益々隆盛を極む。

一、野球部、五季春季リーグ戦にて七校と戦ひ第二位を得九月には明榮と七對三にて大勝し全試合回数十二回の内、九勝三敗の好成绩を挙げたり。

一、剣道部は東海道遠征武者修業決行後技術大いに擧り明治神宮、皇道義會、對明榮對橫濱高商、浦和高校、美術、高等蠶絲、第七回の試合の内六勝一敗のレコードを作れり。

一、相撲部は累計四十七日間出羽海部屋に合宿肉弾的練習の効ありて、關東學生相撲明治神宮、大阪、堺、大濱對美術の各大會に於て殊勳を立てたり。

學年試驗

昭和三年學年試驗は左の如く施行せり

學設試驗	
第三學年	二月一日 製藥 裁判
同 二日	藥工 獨逸
同 三日	電化 藥劑
同 四日	細菌 藥方
同 五日	衛生 獨逸(阿部)
同 六日	獨逸(加藤)簿記
同 七日	生藥 製藥
同 八日	機械 調劑
第一學年	三月十四日 植物 鑑定
同 十五日	獨逸 定量
同 十六日	物理 定量
同 十七日	化學
實地試驗	
第二學年	三月廿日及廿二日 定量分析
第一學年	同 同 定性分析
第九回卒業試驗	同 同 甲乙
實地試驗	
二月十三、十四、十五日	鑑定 衛生裁判
同 十六、十七日	定性 定量
同 十八日	(調劑)同
二月廿、廿一、廿二日	製藥 鑑定
同 廿三、廿四日	定量 定性
同 廿五日	(調劑)同
同 廿七、廿八、廿九日	衛生裁判 製藥
學設試驗	三月二日 化學
同 三日	製藥
同 五日	生藥

駁論

黑澤秀雄

頃日某所に於て、二三知友先輩等と同席の折り談偶母校の將來について、論ぜられた、勿論たまげるほどの名論でも卓説でもないけれども、いささか考慮に値すると信するから敢て一言を曰ふ次第である。

東藥會の仕事としての人事問題は恐らくは、その重要性に於て第一義的たるべきだと信するそれは取りもなをさず母校出身者

ルーツサキラ

無絶用作副 易容 易得 用應

てめ極服用 小人老 易得 用應

劑下的理想

常の人婦に特・症秘便般一(症應過)

長泌分胞・害障嬰兒小・秘便性習

秘便の種各る來りよ等足不動通常

劑錠及末粉(裝包)

呈進告量驗實・書明説

自丁三町仙道・車市販大

店商藥野堀 社會式株 元資發

自丁一町馬場大區橋本日 所張出東東

歌橋亞鉛筆絆創膏

リボン印

粘着力強靱 耐久力優秀 絕對無刺戟

酸化亞鉛二一%含有

東京南品川 歌橋製藥所

徳用 六ヤード入

筒入 長〇・九一M 筒入 幅一・七八Cm

鎮咳と 祛痰に

ブロチン

肺結核、氣管枝炎、肺炎、感冒、百日咳並に其他呼吸器
病に基因する咳嗽喀痰ある場合に盛に賞用せらる。

醫學博士吉村喜作先生は
本劑を多數の患者に應用し、其の治
驗を實業醫報第二年第十四號に公表
せらる、其要に曰く……

- (1) 本劑は祛痰と同時に鎮咳劑と
して顯著確實なる效力を有す…
- (2) 本劑は從來の祛痰劑に比し大
の如き數多の優越せる特點を有
す……
- (イ) 本劑は從來の祛痰劑の如
く粘膜を刺激して分泌を促進乃

至増多せしむるが如き不快なる
作用を有せざるのみならず、却
て之を抑壓乃至減少し、同時に
粘液を溶解する的作用を有し、
その喀出を容易ならしむ……

- (ロ) 本劑は殆ど無味若くは僅微の
苦味を有するものにして、在來
の祛痰劑の如き不快の味を有せ
ざるを以て頗る服用し易し……
- (ハ) 從來の祛痰劑に於ける大なる
缺點たりし胃腸障礙、就中食欲
不振、嘔氣、嘔吐等の忌むべき
副作用を有せざるのみならず、

却て食欲を増進する傾あり……

- (ニ) 祛痰と同時に鎮咳の作用を有
するは本劑の特長にして、從來
の祛痰劑適用の際の如く、麻痺
劑を併用する必要なく、若し
之ある場合と雖も適に少量にて
足る……

- (3) 本劑は以上の諸點の外、何等
忌むべき、若くは、危險なる副
作用を有せざるを以て、使用上
極めて安全にして最も實用的な
り。云々……

(實驗報告摘録集氣代進呈す)

粉末、錠劑、液劑、の三種あり、 各地藥部にて販賣す

本 社 三共株式會社 出 張 所
東 京 室 町 大 阪・臺 北・紐 育